

Panasonic®

すぐ使える
かんたんガイド

取扱説明書(簡易版)

IP音声会議ホン

品番 KX-NT700N



●取扱説明書(詳細版)は、付属のCD-ROMの中にPDFデータとして入っています。



商標および登録商標について

●SDロゴは商標です。

保証書別添付

技術基準適合
認証品

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

■取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

■ご使用前に、「安全上のご注意」(4～5ページ)を必ずお読みください。

■保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

手軽に使える「音声会議ホン」でスムーズな

離れていても、立ち話のような気軽さ！

使いやすい。

話しやすい。

聞き取りやすい。

出張や会議にかかる

時間とコストを削減し、

業務の効率化と迅速な意思決定を

サポートします。

雑音を減らす

マイクノイズカット (P.14)

- 少し雑音が気になる場所でも、相手に聞こえる雑音を減らすことができます。
- 減らす強さは、強弱の2段階に切り替えられます。

会話速度を変える

話速変換 (P.14)

- 早口な人との会話も聞き取りやすい速さに変えられます。
- 話を聞くことが多いときは、「リスニング モード」で、会話のやりとりがあるときは、「カイク モード」と使い分けができます。



コミュニケーションを！

使いかたが 選べる

IP 回線以外にも接続 (P.7)

- IP 回線への接続に加え、一般電話回線・PHS 電話機*¹・パソコンにも接続できます。



3 者通話も…(P.11)

- 通話中に、「電話をかける / 受ける」ことで、3 者間で通話ができます。

SDカード (別売) に録音 (P.13)



パソコンに接続して

- 付属の IP 会議ホンマネージャー を使用して、本機の操作や設定ができます。
- Web 会議サービスを利用するときに、本機のマイクとスピーカーを使って通話できます。(「USB Audio」モードに設定 (P.8))



ビデオ会議を する

別売の IP 会議ホンマネージャー*² を使って

- ネットワークカメラを使用してビデオ会議ができます。
- 通話相手とパソコンのアプリケーションを共有できます。

*¹ パナソニック製構内交換機 (IP-Digaport JII / XII) またはデジタルビジネスホン (ラ・ルリエ) 用のデジタルコードレス電話機 (VB-C911A) のみ。

*² 品番 : KX-NCS7101N

もくじ

● 付属品 / 添付品	3
● 安全上のご注意	4
● 各部の名前	6
● 接続する	7
● 設定する	8
(日付・時刻・動作モード・回線・IP ネットワークの設定)	

● 電話をかける.....	10
● 電話を受ける.....	12
● 録音する	13
● 便利な機能を使う	14
雑音を減らす	14
会話速度を変える.....	14
● バージョンアップする	14

● よくあるお問い合わせ	15
● 保証とアフターサービス.....	裏表紙

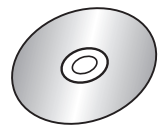
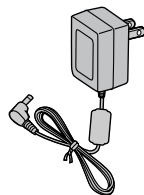
確認・準備

使いかた

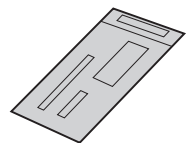
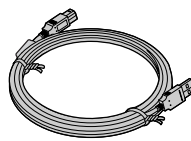
必要なとき

付属品 / 添付品

- AC アダプター
- CD-ROM*³



- USB ケーブル
- 保証書




*³ 取扱説明書一式と、IP 会議ホンマネージャーおよび別売の IP 会議ホンマネージャー体験版のセットアップソフトウェアが入っています。


安全上のご注意

必ずお守りください



人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

 **警告** 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

 **注意** 「傷害を負うことや財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容の種類を次の図記号で説明しています。


  してはいけない内容です。

  実行しなければならない内容です。

警告




火災や感電などを防ぐために

 **分解・修理・改造は、しない**


火災・感電の原因になります。

- 修理は販売店へご相談ください。


 **機器内部に異物を入れたり、水をかけたり、ぬらしたりしない**

火災・感電の原因になります。

- 異物が入ったり、ぬれたりした場合は、すぐに AC アダプターを抜いて（PoE 給電の場合は、LAN ケーブルを抜く）、販売店へご相談ください。

 **ぬれた手で、AC アダプターの抜き差しはしない**

感電の原因になります。

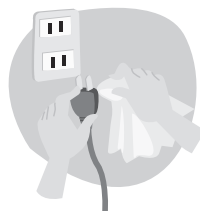
 **AC アダプター・コードを破損するようなことはしない**

（傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねる など）傷んだまま使用すると感電・ショート・火災の原因になります。

- 修理は販売店へご相談ください。

 **AC アダプターのほこりなどは定期的にとる**

プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。



- AC アダプターを抜き、乾いた布でふいてください。

 **AC アダプターは根元まで確実に差し込む**

差し込みが不完全なまま使用すると、感電や発熱による火災の原因になります。

- 傷んだ AC アダプターやゆるんだコンセントは、使用しないでください。

警告



煙・異臭・異音が出たり、落下・破損したときは、すぐにACアダプターを抜く

(PoE 給電の場合は、LAN ケーブルを本体から抜く)

そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。

- 使用を中止し、販売店へご相談ください。



電源コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、AC100V 以外での使用はしない

たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。



電話機コードのプラグに、洗剤などの液体をかけたり、ぬらしたりしない

火災・感電の原因になります。

- 電話機コードのプラグがぬれたときは、すぐに壁側の電話回線ジャックから抜き、使用しないでください。



SDメモリーカードは、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って、飲み込むおそれがあります。

- 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。



雷が鳴ったら本機や AC アダプター・電話機コードに触れない

感電の原因になります。



注意



湿気や湯気・ほこりの多い場所では、使わない

火災・感電の原因になることがあります。



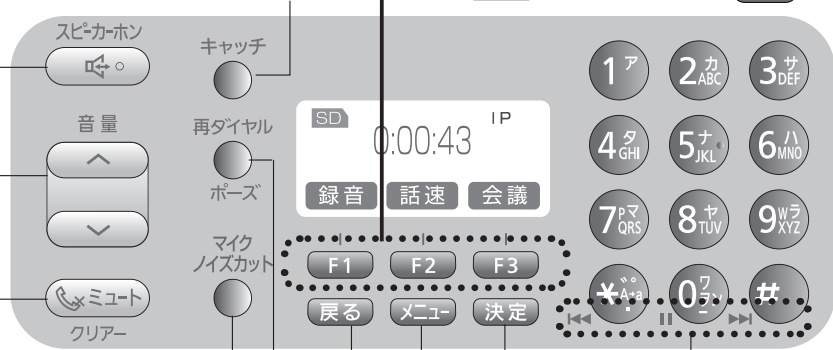
水平でない場所や振動の激しい場所では、使わない

落下により破損・けがの原因になることがあります。

各部の名前

コントロールパネル

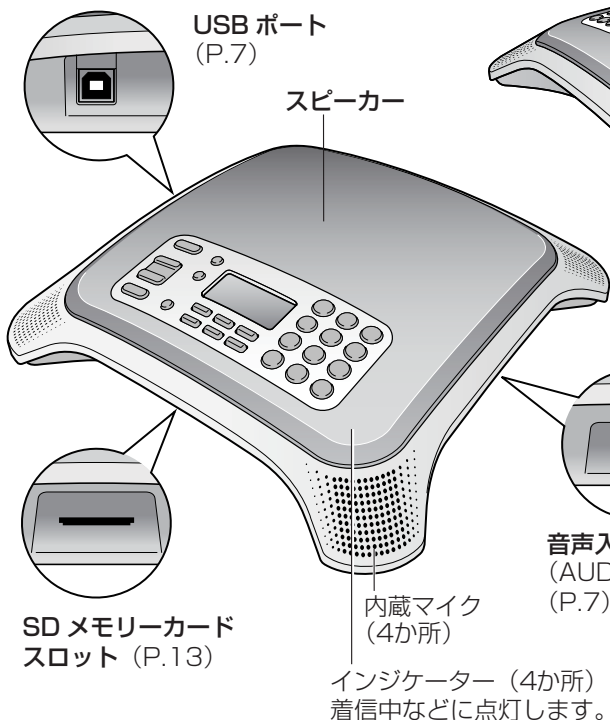
- 通話中にかかった電話を受ける / 受けた電話を終了する
- 電話をかける
- 電話を受ける
- 通話を終了する
- 電話帳を検索する
- 音量調整や、メニュー項目などを選ぶ
- 文字や数字を消す
- 通話中の自分の声を相手に聞こえないようにする
- 通話中の雑音を減らす
- 以前かけた相手にかける
- 番号と番号の間に、ポーズ（間隔）を入れる



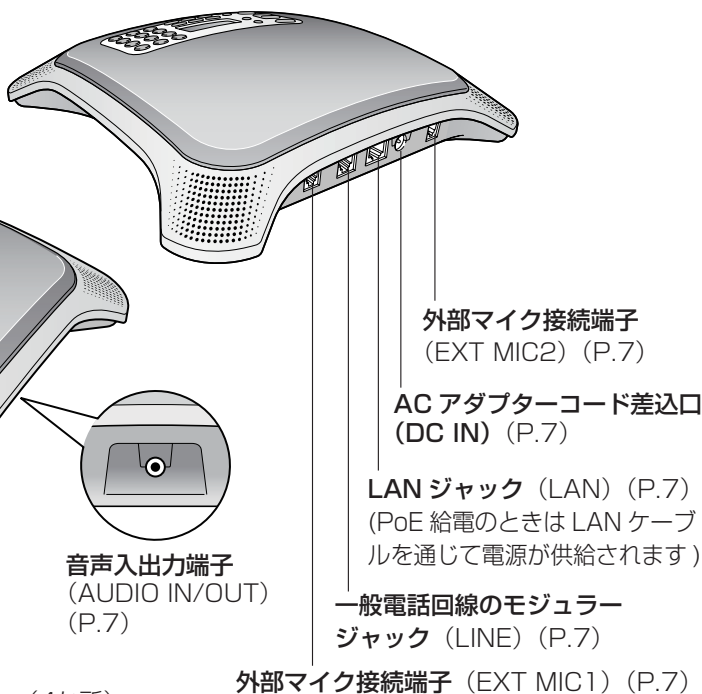
ソフトボタン

- 画面上のアイコンを選ぶには、すぐ下のソフトボタンを押す
例：録音を選びたいときは **F1**
会議を選びたいときは **F3**
- 入力した内容を確定する
- 設定する機能を表示する
- 最初の画面に戻る
- 1つ前の画面に戻る
- 録音した音声を再生するときに使う (P.13)

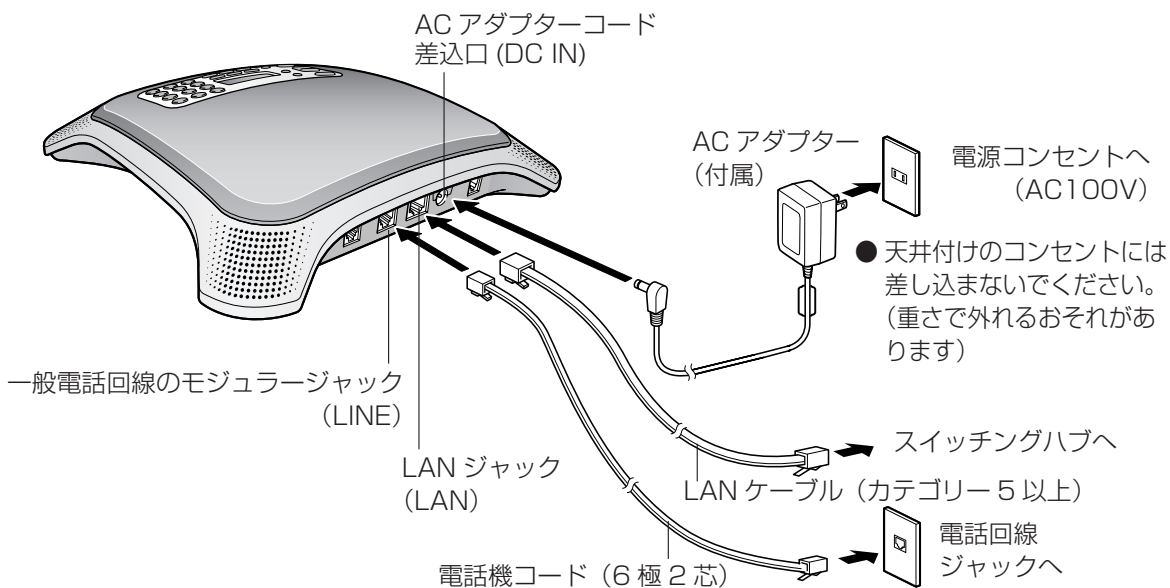
本体



本体背面

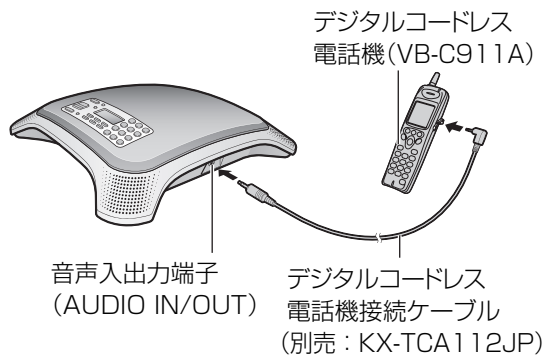


接続する



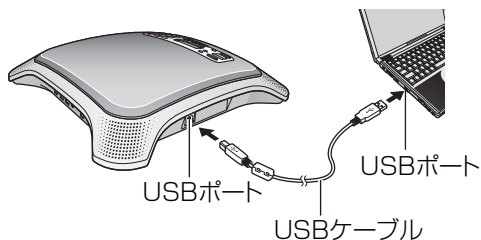
PHS 電話機やパソコンと接続すると、本機のマイクやスピーカーを使って通話ができます。

■ PHS 電話機と接続するには

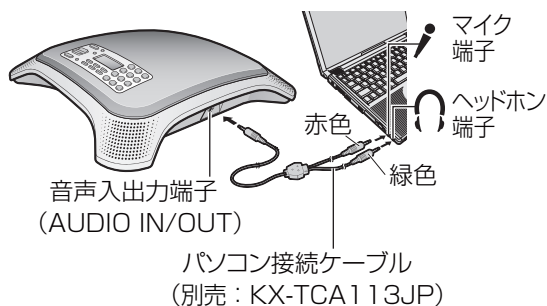


■ パソコンと接続するには

- USB ケーブル (付属) を使用する 場合

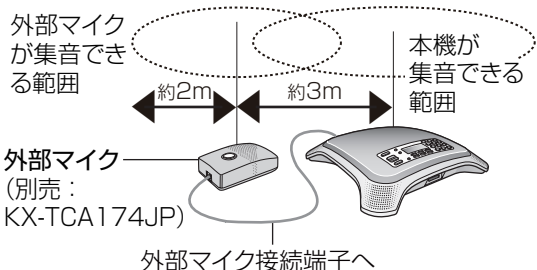


- パソコン接続ケーブル (別売) を使用する 場合



■ 外部マイクと接続するには

- 別売の外部マイクを付けたら、集音範囲が広がります。



設定する

日付・時刻の設定

例：2008年12月31日午後7時5分の場合 → 「0812311905」と入力（すべて2ケタで）

- 1 **メニュー** 押す
- 2 **↑** か **↓** で「キホン セッテイ」を選び
選択 (F3) 押す
- 3 **↑** か **↓** で「カレンダー」を選び
選択 (F3) 押す
- 4 **0**～**9** で年月日・時・分を入力し
決定 (F3) 押す

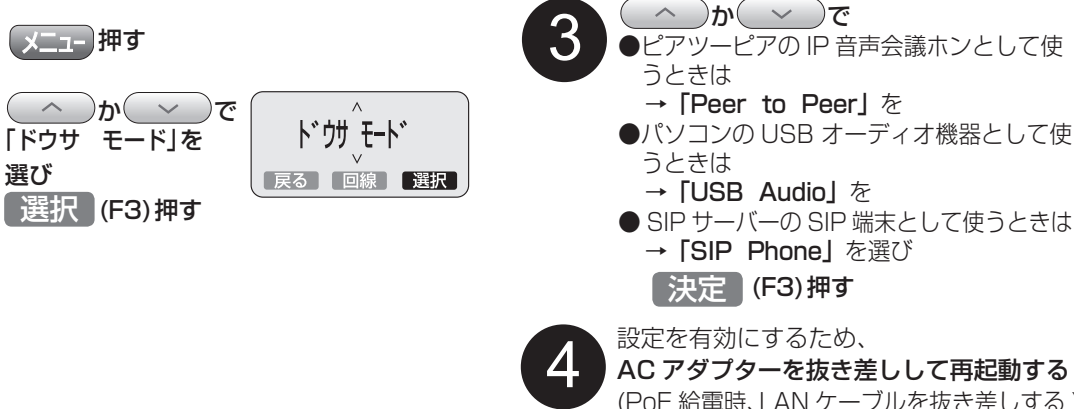


●入力ミスは→ **<** (F1)で、戻って入力をやりなおす。

動作モードの設定

「ドウサ モード」の設定によって、本機はピアツーピアのIP音声会議ホン、パソコンのUSB オーディオ機器、またはSIPサーバーのSIP端末として動作します。（ご購入時＝「Peer to Peer」）

- 1 **メニュー** 押す
- 2 **↑** か **↓** で「ドウサ モード」を選び
選択 (F3) 押す
- 3 **↑** か **↓** で
 - ピアツーピアのIP音声会議ホンとして使うときは
→ 「Peer to Peer」を
 - パソコンのUSBオーディオ機器として使うときは
→ 「USB Audio」を
 - SIPサーバーのSIP端末として使うときは
→ 「SIP Phone」を選び
決定 (F3) 押す
- 4 設定を有効にするため、**ACアダプター**を抜き差しして再起動する（PoE給電時、LANケーブルを抜き差しする）



回線の設定

使う回線に合わせて、以下の設定をしてください。（ご購入時＝「IP + TEL」）

（動作モードの設定が「USB Audio」の場合、「カイセン センタク」の設定はできません。）

- 1 **メニュー** 押す
- 2 **回線** (F2) 押す
- 3 **↑** か **↓** で
 - IP回線および一般回線を使うときは
→ 「IP + TEL」を
 - IP回線およびPHS電話機を使うときは
→ 「IP + PHS」を
 - IP回線およびパソコンを使うときは
→ 「IP + PC」を選び
決定 (F3) 押す



- 一般電話回線でナンバー・ディスプレイを契約している場合や「ブッシュ」回線以外をご利用の場合は付属のCD-ROMの取扱説明書（詳細版）「一般電話回線を設定する」を参照ください。
- 設定されていない回線から着信することはできません。
例）「IP + PHS」または「IP + PC」のときに一般電話回線 [TEL] からの着信。

IP ネットワークの設定

本機を IP ネットワークに接続するための設定を行います。詳しくは、システム管理者にご相談ください。

■自動設定 (DHCP)

- 1 **メニュー** 押す
- 2 **↑** か **↓** で「IPネットワーク セッテイ」を選び **選択** (F3) 押す
- 3 **↑** か **↓** で「IPアドレス モード」を選び **選択** (F3) 押す
- 4 **↑** か **↓** で「DHCP」を選び **決定** (F3) 押す
- 5 設定を有効にするため、**AC アダプター**を抜き差しして再起動する (PoE 給電時、LAN ケーブルを抜き差しする)

- 本機を SIP サーバーの SIP 端末として使用する場合は、付属の CD-ROM の取扱説明書 (詳細版) 「SIP を設定する」を参照ください。

■手動設定 (固定設定)

(「自動設定」の手順①～③と同じ操作をしてから)

- 4 **↑** か **↓** で「コティ」を選び **決定** (F3) 押す
- 5 **↑** か **↓** で「IPアドレス」を選び **選択** (F3) 押す
- 6 **0**～**9** で「IPアドレス」を入力し **決定** (F3) 押す (ピリオドは*で入力する。)
- 7 **↑** か **↓** で「サブネットマスク」を選び **選択** (F3) 押す
- 8 **0**～**9** で「サブネットマスク」を入力し **決定** (F3) 押す (ピリオドは*で入力する。)
- 9 **↑** か **↓** で「デフォルトゲートウェイ」を選び **選択** (F3) 押す
- 10 **0**～**9** で「デフォルトゲートウェイ」の IP アドレスを入力し **決定** (F3) 押す (ピリオドは*で入力する。)
- 11 設定を有効にするため、**AC アダプター**を抜き差しして再起動する (PoE 給電時、LAN ケーブルを抜き差しする)

電話をかける

PHS 電話機およびパソコンを使用して電話をかける場合は、付属の CD-ROM の取扱説明書（詳細版）「PHS 電話機／パソコンを使用して通話する」を参照ください。

1 使用回線の表示を確認する
回線を切り替えるには、F2 を押してください。

例)

- IP 回線が選択されている
- 一般電話回線が選択されている

LAN ケーブルが未接続の場合は、F2 には回線が表示されません。

- 表示がないとき→回線の設定をする。(P.8)

2 **押す**

3 相手の電話番号か IP アドレスを入力する

- ピリオドは*で入力する。
- IP アドレス入力後は#か **決定** を押す。

4 通話終了は **押す**

電話帳で電話をかける

電話帳への登録は、付属の CD-ROM の取扱説明書（詳細版）「電話帳に登録する」を参照ください。

1 (F3) 押す

2 か で、かけたい相手を探す

- 頭文字から検索する場合、0 ~ 9 で頭文字を入力し、 か でかけたい相手が表示されるまで押す。
- **メニュー** で検索終了
- 電話帳のディスプレイ右下には、登録したときの回線 (「IP」または「TEL」) が表示されます。電話帳を使用して電話をかけるときに、この回線が使用されます。

例)

デンワチョウ
10ケン
0-9=ナマエ ケンサク
ハV=スクロール
戻る **消去** **登録**

例)

ズキ
9876543210
AV=スクロール **TEL**
戻る **消去** **修正**

一般電話回線が使用されます

3 で、電話をかける

本機の性能を十分に発揮させるために（お願いとお知らせ）

- 反響音のない、静かな部屋で、ご使用ください。
 - 壁の近くなどに、置かないでください。
 - 通話直後は、交互にお話しくささい。
- (本機が両者の声を聞き取りやすくするよう、自動調整します。推奨環境騒音は 50dB A 以下。)
- 一般電話回線ご使用時は、通話開始後約 30 秒程度相手の声途切れて聞こえることがあります。(本機の学習機能が働くため。また学習時間は、通話環境および回線状況により変わります。)

別の相手呼び出して 3 者通話する

使用する回線に合わせて、事前に回線設定をしておいてください。(P.8)

- 1 会議 (F3) 押す**
(現在の 2 者通話が保留になる)
- 2 使用回線の表示を確認する**
回線を切り替えるには、F1 を押してください。
例)
 - IP 回線が選択されている
 - 一般電話回線が選択されている
- 3 参加させたい別の相手の電話番号か IP アドレスを入力する**
 - ピリオドは * で入力する。
 - IP アドレス入力後は # か **決定** を押す。
 - **戻る** (F2) を押すと、3 者通話には入らず、最初の相手との通話に戻る。
- 4 電話を受けた相手が応答した後、会議 (F3) 押して、3 者通話を始める**

使いかた

3 者通話ができる回線の組み合わせ

自分の回線	相手の回線	第 3 者の回線(呼び出し / 割込み)			
		IP	TEL	PHS	PC
IP	IP	●*1	●	●	●
TEL	TEL/PHS	●	×	×	×
PHS	TEL/PHS	●	×	×	×
PC	PC	●	×	×	×

*1 「Peer to Peer」モード時のみ

■ 3 者通話を終了するとき

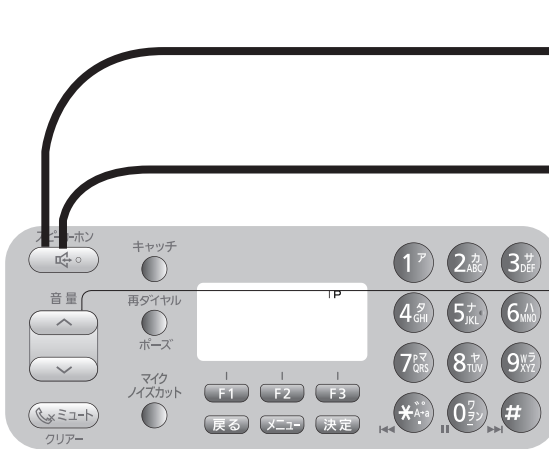
切断 (F3) 押して、通話を終了したい相手を **↑** か **↓** で選び、


選択 (F3) 押す


(2 者通話に戻る)



●すべての通話を終了するときは **📞** を押す。

電話を受ける



1  押す

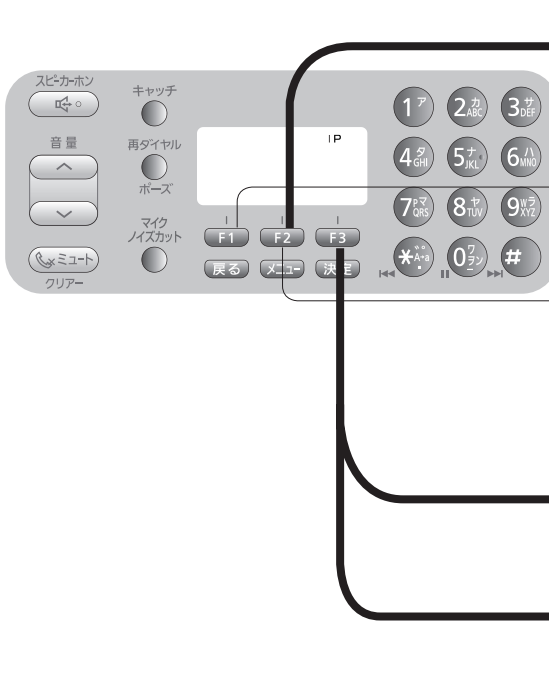
2 通話終了は  押す

■着信音量・スピーカーの音量を調節する
着信中や通話中に
 か 
繰り返し押す

●ディスプレイに表示されていない回線から着信することはできません。
例) 「IP + PHS」または「IP + PC」のときに一般電話回線 [TEL] からの着信。

割り込み 3 者通話

通話中にかかってきた別の相手(第 3 者)からの電話を受けて、同時に 3 者で話せます。






1 別の相手(第 3 者)の電話を受ける
応答 (F2) 押す
(現在の 2 者通話が保留になる)

■別の相手の電話を受けないときは
拒否 (F1) 押す
(現在の 2 者通話は継続する)

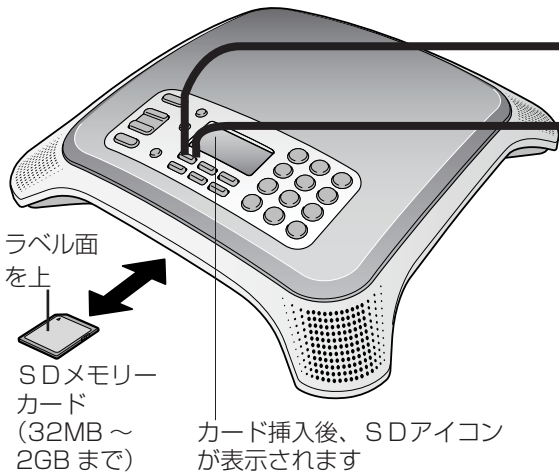
■別の相手の受けたあとに、その電話を切るとき
切断 (F2) 押す
(現在の 2 者通話は継続する)

2 3 者通話を始める
会議 (F3) 押す

3 3 者通話を終了する
切断 (F3) 押して、
通話を終了したい相手を
 か  で選び、
選択 (F3) 押す
(2 者通話に戻る)

●すべての通話を終了するときは  を押す。

録音する



SDメモリーカードに録音する

■ 通話を録音するとき

- 1 通話中に **録音** (F1) 押す
- 2 **停止** (F1) で、録音を止める

■ メモを録音するとき (通話以外の録音)

- 1 **メニュー** 押す
- 2 **↑** か **↓** で「メモ ロクオン」を選び、**録音** (F3) 押す
- 3 **停止** (F1) で、録音を止める



再生中の便利な機能

機能	操作
音量を調節する	↑ か ↓ を押す
次の録音内容を再生する	再生中に # (▶▶) を押してから、 再生 (F2) を押す
現在の録音内容の頭出しをする	再生中に * (◀◀) を押してから、 再生 (F2) を押す
前の録音内容を再生する	再生中に * (◀◀) を2回押してから、 再生 (F2) を押す
早送りする	<ul style="list-style-type: none"> ● 4倍速: ▶▶▶▶ (F3) を押す ● 60倍速: ▶▶▶▶▶▶▶▶▶▶ (F3) を2回押す ● 早送り中の録音内容を再生する: 再生 (F2) を押す
巻き戻しする	<ul style="list-style-type: none"> ● 4倍速: ◀◀◀◀ (F1) を押す ● 60倍速: ◀◀◀◀◀◀◀◀◀◀ (F1) を2回押す ● 巻き戻し中の録音内容を再生する: 再生 (F2) を押す
一時停止する	0 (⏸) を押す 再開するには 再生 (F2) を押す

録音を再生する

- 1 **再生** (F1) 押す
- 2 **↑** か **↓** で、再生したい録音内容を選び、**選択** (F3) 押す
- 3 **再生** (F3) 押す
- 4 **戻る** で、再生を止める



録音を消去する

■ 一件消すとき

- 1 **再生** (F1) 押す
- 2 **↑** か **↓** で、消去したい録音内容を選び、**消去** (F2) 押す
- 3 **ハイ** (F1) 押す
(「ショウキョシマシタ」と表示される)



■ 全件消去するとき

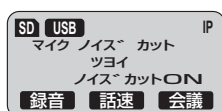
再生 (F1) → **消去** (F2) → **ハイ** (F1) を押す。
(「スベテ ショウキョシマシタ」と表示される)

便利な機能を使う

雑音を減らす

マイクノイズカット

マイク
ノイズカット



(押すたびに、雑音減少レベルが切り替わる)

ツヨイ



ヨワイ



オフ

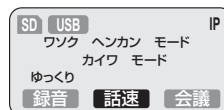
(減少レベルは、約 3 秒間表示される)

会話速度を変える

話速変換

話速

(F2)



(通話中、押すたびに会話速度が切り替わる)

カイワ モード



リスニング モード



オフ

(モードは約 3 秒間表示される)

- 最も遅くしたいときは「リスニング モード」にする。
- 通常の速度に戻りたいときは、 (F2) を押して、オフにする。

バージョンアップする

最新のソフトウェアを、パナソニックのサポートウェブサイトからダウンロードし、製品をバージョンアップすることができます。

詳細については、以下のウェブサイトを参照してください。

<http://panasonic.biz/netsys/kaigiphone/support/download/index.html>

よくあるお問い合わせ

使いかた

必要なとき

動作しない？

- ケーブルやコードが正しく接続されていますか？
(P.7)
- 本機に電源が供給されていますか？
→本機は停電時や AC アダプターが差し込まれていないときは、動作しません。
→LAN ケーブルで電源を供給している場合、LAN ケーブルがきちんと差し込まれているか確認してください。
- エラーが発生しています。
→本機を再起動してください。
再起動は、AC アダプターを一度抜き、10 秒後に再度 AC アダプターを差し込んでください。
LAN ケーブルで電源を供給している場合、LAN ケーブルを一度抜き、10 秒後に再度 LAN ケーブルを差し込んでください。



着信音が鳴らない？

- 着信音が OFF になっていませんか？
→待機中または着信中に【^】を押し、音量を調節してください。(P.12)

発信できない？

電話回線で発信できないとき

- 電話回線が選択されていますか？
→ダイヤルする前に、[TEL] がディスプレイ右上に表示されているか確認してください。
表示されていない場合、ソフトボタン【F2】を押して電話回線「TEL」を選んでください。(P.10)
- 回線が [TEL] に設定されているか確認してください。(P.8)
- 回線種別が正しく設定されていますか？
→「カイセン シュベツ」(プッシュ/10 PPS/20 PPS) がお使いの回線に適した設定になっているか確認してください。
(CD-ROM の取扱説明書(詳細版)「一般電話回線を設定する」参照)

IP 回線で発信できないとき

- IP 回線が選択されていますか？
→ダイヤルする前に、[IP] がディスプレイ右上に表示されているか確認してください。
表示されていない場合、ソフトボタン【F2】を押して IP 回線を選んでください。(P.10)

長距離電話ができない？

- 本機が構内交換機に接続されている場合、長距離電話がかけられないように設定されている場合があります。
→構内交換機の管理者にご相談ください。

その他のトラブルが起きたときは、付属の CD-ROM の取扱説明書(詳細版)「困ったとき」を参照ください。

保証とアフターサービス

(よくお読みください)

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は…
お買い上げの販売店または販売会社へ
お申し付けください。

移転の際のご相談は…
お買い上げの販売店または販売会社へ
お申し付けください。

保証書 (別添付)

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、
お買い上げの販売店からお受け取りください。
よくお読みのと、保管してください。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

ただし、本機に内蔵のリチウム電池は消耗品ですので、
保証の対象外とさせていただきます。

補修用性能部品の保有期間

当社は、この IP 音声会議ホンの補修用性能部品を、
製造打ち切り後 5 年保有しています。

注) 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持する
ために必要な部品です。

修理を依頼される時

「よくあるお問い合わせ」(P.15) および取扱説明書
(詳細版)の「困ったとき」の表に従って
ご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを
抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

●保証期間中は

保証書の規定に従って、無償修理をさせていただきます。

●保証期間が過ぎているときは

お買い上げの販売店へご依頼ください。修理
すれば使用できる製品については、ご希望により
有料で修理させていただきます。

お買い上げの販売店へご依頼にならない場合は、
保証書表面に記載されています連絡先へお問い合わせ
ください。

●修理料金の仕組み

次の内容(右上)で構成されています。
ご理解のうえ、ご相談ください。

技術料は、診断・故障個所の修理および部品
交換・調整・修理完了時の点検な
どの作業にかかる費用です。

部品代は、修理に使用した部品および補助材
料代です。

出張料は、お客様のご依頼により製品のある
場所へ技術者を派遣する場合の費
用です。

ご連絡いただきたい内容

製品名	IP 音声会議ホン
品番	KX-NT700N
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に

アフターサービスについて、おわかり にならないとき

お買い上げの販売店または保証書表面に記載されて
います連絡先へお問い合わせください。

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い

パナソニック株式会社およびその関係会社は、
お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への
対応や修理、その確認などのために利用し、そ
の記録を残すことがあります。また、折り返し
電話させていただくときのため、ナンバー・ディ
スプレイを採用しています。なお、個人情報を
適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正
当な理由がある場合を除き、第三者に提供しま
せん。お問い合わせは、ご相談された窓口にご
連絡ください。

- 正常な使用状態で本装置に故障が生じた場合、当
社は本装置の保証書に定められた条件に従って修
理をさせていただきます。ただし、落雷や停電な
どの外部要因、または本装置の故障、誤動作等で、
本装置が使えなかったことによる付随的被害(料
金管理など)の補償については、当社はその責任
を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- 説明書に記載されている内容は、製品のバージョ
ンアップなどに伴い、将来予告無しに変更するこ
とがあります。

パナソニック システムネットワークス株式会社

〒153-8687 東京都目黒区下目黒二丁目3番8号 電話 03-3491-9191

© Panasonic System Networks Co., Ltd. 2009

PSQF1073VA-UF
KF0408MY4030